

# MUFG Focus USA Weekly

## 経済調査室 ニューヨーク駐在情報

MUFG Union Bank, N.A. Economic Research NY  
Hiroshi Kurihara | 栗原 浩史 (hikurihara@us.mufg.jp)  
Director and Chief U.S. Economist

### 上院選挙の結果とジョージア州決選投票の行方

#### 【要旨】

- ◇ 上院選挙は接戦となり現時点で大勢が判明していない。現時点での確定議席数を非改選議席数に加えると、共和党が49議席、民主党が48議席（民主党系無所属を含む）となっている。確定していない議席は、アラスカ州、ジョージア州、ジョージア州特別選挙の3つである。ジョージア州は2議席ともに接戦となって50%以上を獲得する候補がいなかったため、ジョージア州の規定に基づき来年1月5日に2議席とも決選投票が行われると報じられている。
- ◇ アラスカ州は現時点での得票率等から共和党候補が優勢とみられており、共和党はこの議席を獲得すれば議席数が半数の50に達する。但し、上院の票決で可否同数の場合には上院議長を兼ねる副大統領が票を投じるため、バイデン民主党政権であれば、共和党は主導権を握るために51議席が求められる。共和党はジョージア州の来年1月の決選投票で1議席以上獲得すると主導権を握れそうであり、その場合に民主党は掲げる政策をそのままの形で実現することが難しくなると考えられる。即ち、ジョージア州の決選投票は今後の政策動向を左右する極めて重要な選挙となる可能性が高い。
- ◇ 来年1月の決選投票までには2ヵ月弱あるため、その間に候補者の支持率がどう推移するか予断を持たずにみていく必要があるだろう。決選投票に向けた両党の動き以外で支持率に影響し得る今後の注目点としては、①「足元で感染が再拡大している新型コロナウイルスの動向」、②「新型コロナウイルスワクチンの開発動向」、③「景気・雇用の回復度合い」、④「追加経済対策に向けた議会の動き」等が挙げられよう。
- ◇ 共和党は2つの決選投票に臨む候補が基本的に「現職」であることを踏まえると、ジョージア州が向き合う新型コロナウイルスや景気関連の動向が今後悪化する場合には共和党にとって逆風となる可能性が高いように感じられる。コロナ禍で景気・雇用の変動幅も非常に大きくなっており決選投票までの動向が注目される。

### 3日に実施された上院選挙は接戦となり現時点で大勢が判明せず

3日に実施された大統領・議会選挙について、大統領選挙では民主党バイデン氏が8日に勝利宣言をしたものの、共和党トランプ陣営は法廷闘争を続ける姿勢を示している<sup>(注1)</sup>。全議席が改選される下院（定数435議席）は、CNNの9日時点の集計・見通しによれば、民主党の217議席と共和党の199議席が確定しており、共和党が議席を幾分増やしたものの、民主党が引き続き多数を維持する格好となった。

このようななか上院選挙は接戦となり現時点で大勢が判明していない。上院（定数100議席）は2年毎に3分の1の議席が改選されるが、今回は3分の1の議席である33議席に2つの特別選挙が加わり計35議席が改選された<sup>(注2)</sup>。現時点で確定した議席は31とされ、内訳は共和党が18議席、民主党が13議席である（次頁第1表）。共和党はアラバマ州で議席を新たに獲得し、民主党はアリゾナ州とコロラド州で議席を新たに獲得した。現時点での確定議席数を非改選議席数に加えると、共和党が49議席、民主党が48議席（民主党系無所属を含む）となっている。

確定していない議席は、アラスカ州、ジョージア州、ジョージア州特別選挙の3つである。現時点のアラスカ州での得票率は共和党候補（現職）が62.9%、民主党候補が31.8%である（推定開票率は47%）。ジョージア州は2議席ともに接戦となって50%以上を獲得する候補がいなかったため、ジョージア州の規定に基づき来年1月5日に2議席とも決選投票が行われると報じられている。

（注1）大統領選挙結果については2020年11月6日付経済情報「米国大統領選挙：開票作業でも激戦州中心に接戦続く～トランプ陣営は法廷闘争も示唆」を参照されたい。

（注2）改選の対象となった上院議席の内訳は、共和党が23議席、民主党が12議席である。

### ジョージア州の決選投票は今後の政策動向を左右する極めて重要な選挙となる可能性が高い

アラスカ州については上記得票率からも共和党候補が優勢とみられており、共和党はこの議席を獲得すれば上院議席数が半数の50に達する。但し、上院の票決で可否同数の場合には上院議長を兼ねる副大統領が票を投じるため、バイデン民主党政権であれば、共和党は上院の主導権を握るために51議席が求められる<sup>(注3)</sup>。

共和党はジョージア州の来年1月の決選投票で1議席以上獲得すると主導権を握れる見込みであり、その場合には民主党は掲げる政策をそのままの形で実現することが難しくなるとみられる。即ち、ジョージア州の決選投票は今後の政策動向を左右する極めて重要な選挙となる可能性が高い。

（注3）上院で法案等を可決するためには、過半数が必要なケースと60票が必要なケースがある。

第1表: 上院選挙(改選35議席)の結果

選出州	現職	所属 政党	備考	選挙結果(CNN、10日時点)					勝者の経歴等
				共和党候補	得票率 (%)	民主党候補	得票率 (%)	推定 開票率 (%)	
1 アイオワ	ジョニ・アーンスト	共和	-	現職	51.8	テレサ・グリーンフィールド	45.2	97	現職の共和党アーンスト氏は2015年より上院議員。退役軍人(イラク戦争に派遣)
2 アイダホ	ジム・リッシュ	共和	-	現職	62.6	ボーレット・ジョーダン	33.3	98	現職の共和党リッシュ氏は元アイダホ州知事で、2009年より上院議員
3 アーカンソー	トム・コットン	共和	-	現職	66.7	(候補者無し)	-	97	現職の共和党コットン氏は下院議員を経て、2015年より上院議員
4 アラスカ	ダン・サラバン	共和	-	現職	62.9	アル・グロス	31.8	47	-
5 アラバマ	ダグ・ジョーンズ	民主	-	トミー・クーパー・ヴィル	60.1	現職	39.7	99	共和党クーパー・ヴィル氏はカレッジフットボール(大学アメフト)の元監督(アラバマ州のアーバン大学等)
6 アリゾナ	マーサ・マクサリー	共和	特別選挙	現職	48.7	マーク・ケリー	51.2	97	民主党ケリー氏は元宇宙飛行士
7 イリノイ	ディック・ダービン	民主	-	マーク・カーラン	40.5	現職	53.4	90	現職の民主党ダービン氏は上院少数党院内幹事
8 ウェストバージニア	シェリー・キャピト	共和	-	現職	70.4	ポーラ・ジーン・スウェアリンギン	26.9	97	現職の共和党キャピト氏は下院議員を経て、2015年より上院議員
9 オクラホマ	ジム・インホフ	共和	-	現職	62.9	アビー・プロイロズ	32.8	99	現職の共和党インホフ氏は1994年から上院議員を務め、現在は上院軍事委員長
10 オレゴン	ジェフ・マークリー	民主	-	ジョー・レイ・パーキンズ	39.3	現職	57.0	95	現職の民主党マークリー氏はオレゴン州議会の下院議長等を経て、2009年より連邦上院議員
11 カンザス	パット・ロバーツ	共和	再選 目指さず	ロジャー・マーシャル	53.6	バーバラ・ポリエー	41.5	99	共和党マーシャル氏は連邦下院議員
12 ケンタッキー	ミッチ・マコネル	共和	-	現職	57.9	エイミー・マグラス	38.1	98	現職の共和党マコネル氏は上院院内総務
13 コロラド	コリー・ガードナー	共和	-	現職	44.4	ジョン・ヒッケンルーバー	53.3	95	民主党ヒッケンルーバー氏は元コロラド州知事
14 サウスカロライナ	リンゼー・グラム	共和	-	現職	54.5	ハイメ・ハリソン	44.2	99	現職の共和党グラム氏は上院司法委員長
15 サウスダコタ	マイク・ラウンズ	共和	-	現職	65.8	ダン・アーラース	34.2	98	現職の共和党ラウンズ氏は元サウスダコタ州知事で、2015年より上院議員
16 ジョージア	デビッド・パーデュ	共和	-	現職	49.7	ジョン・オソフ	47.9	98	-
17 ジョージア	ケリー・ロフラー	共和	特別選挙	現職	25.9	ラファエル・ワノック	32.9	98	-
18 テキサス	ジョン・コーニン	共和	-	現職	53.6	メアリー・ヘーガー	43.8	98	現職の共和党コーニン氏は2002年より上院議員。前上院院内幹事
19 テネシー	ラマー・アレクサンダー	共和	再選 目指さず	ビル・ハガティ	62.1	マルキータ・ブラッドショー	35.3	96	共和党ハガティ氏は前駐日大使
20 デラウェア	クリストファー・クーンズ	民主	-	ローレン・ウィツキ	37.9	現職	59.4	96	現職の民主党クーンズ氏は2010年より上院議員
21 ニュージャージー	コーリー・ブッカー	民主	-	リキン・メータ	40.1	現職	58.2	79	現職の民主党ブッカー氏は2020年の民主党大統領候補指名争いに出馬
22 ニューハンプシャー	ジーン・シャヒーーン	民主	-	コーキン・メスナー	41.1	現職	56.6	98	現職の民主党シャヒーーン氏は元ニューハンプシャー州知事で、2009年より上院議員
23 ニューメキシコ	トム・ユードル	民主	再選 目指さず	マーク・ロンチェッティ	45.7	ベン・レイ・ルーハン	51.6	99	民主党のルーハン氏は下院議員
24 ネブラスカ	ベン・サス	共和	-	現職	64.7	クリス・ヤニセック	24.9	94	現職の共和党サス氏はネブラスカ州にあるミッドランド大学の元学長で、2015年より上院議員。トランプ大統領はサス氏を「名ばかりの共和党員(RINO)」と批判
25 ノースカロライナ	トム・ティリス	共和	-	現職	48.7	カル・カニングハム	47.0	97	現職の共和党ティリス氏は2015年より上院議員
26 バージニア	マーク・ワーナー	民主	-	ダニエル・ゲイド	44.1	現職	55.9	99	現職の民主党ワーナー氏は元バージニア州知事で、2009年より上院議員
27 マサチューセッツ	エド・マーキー	民主	-	ケビン・オコナー	33.4	現職	65.8	89	現職の民主党マーキー氏は下院議員を長年務めた後、2013年より上院議員
28 ミシガン	ゲイリー・ピーターズ	民主	-	ジョン・ジェイムズ	48.3	現職	49.8	98	現職の民主党ピーターズ氏は下院議員を経て2015年より上院議員
29 ミシシッピ	シンディ・ハイド・スミス	共和	-	現職	55.8	マイク・エスピー	42.3	96	現職の共和党ハイド・スミス氏は2018年より上院議員。元ミシシッピ州農務長官
30 ミネソタ	ティナ・スミス	民主	-	ジェイソン・ルイス	43.5	現職	48.8	97	現職の民主党スミス氏は元ミネソタ州副知事で、2018年より上院議員
31 メーン	スーザン・コリンズ	共和	-	現職	50.6	サラ・ギデオン	42.7	88	現職の共和党コリンズ氏は1997年より上院議員。元上院国土安全保障・行政問題委員長
32 モンタナ	ステイブ・デインズ	共和	-	現職	55.2	ステイブ・ブロック	44.8	99	現職の共和党デインズ氏は2015年より上院議員。P&G社等で勤務経験
33 ルイジアナ	ビル・カシディ	共和	-	現職	59.3	エイドリアン・パーキンズ	19.0	96	現職の共和党カシディ氏は下院議員を務めた後、2015年より上院議員
34 ロードアイランド	ジャック・リード	民主	-	アレン・ウォーターズ	33.7	現職	66.3	93	現職の民主党リード氏は1997年から上院議員で、上院軍事委員会所属
35 ワイオミング	マイク・エンジ	共和	再選 目指さず	シンシア・ルミス	73.1	メラブ・ベン・デビッド	26.9	97	共和党ルミス氏は元下院議員。今回の当選でワイオミング州初の女性上院議員に

(注) 1. 選挙結果の赤色、青色部分は勝者、黄色部分は未確定。

2. ジョージア州特別選挙とルイジアナ州選挙は、両党が候補者を絞り込まずに3日に選挙を実施する形であり、上記以外も両党から立候補している。

(資料) CNN、各種報道・資料より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## ジョージア州特別選挙の決選投票は民主党ワーノック氏と共和党現職ロフラー氏で争われる

上院のジョージア州の選挙結果について、まず特別選挙でない方の得票率は共和党現職パーデュー氏が 49.7%、民主党候補のオソフ氏が 47.9%となっている（推定開票率は 98%）。パーデュー氏は元々実業家であり、ダラー・ゼネラル社の最高経営責任者（CEO）等を経て 2015 年 1 月から上院議員を務めている。オソフ氏はジャーナリストで調査報道会社の最高経営責任者（CEO）を務めていた。

ジョージア州の特別選挙は、予備選挙を行わずに両党から複数立候補して 3 日に実施された（得票率が 50%に達する候補のいない場合には上位 2 名での決選投票となる）。得票率の多い順に、民主党ワーノック氏（32.9%）、共和党現職ロフラー氏（25.9%）、共和党コリンズ氏（20.0%）、民主党ジャクソン氏（6.6%）、民主党リーバーマン氏（2.8%）となっている（推定開票率は 97%）<sup>（注4）</sup>。このため決選投票はワーノック氏とロフラー氏で争われる。ワーノック氏はジョージア州サバンナ出身の牧師である（15 年前にアトランタにあるキング牧師ゆかりのエザベニー・バプティスト教会の主任牧師となった）。ロフラー氏は元々実業家で、ジョニー・アイザクソン議員の辞任に伴いジョージア州知事が指名して今年 1 月に上院議員に就任している。

（注4）ここでのジョージア州特別選挙の得票率・推定開票率はワシントン・ポスト紙の 9 日時点の数値である。

## 新型コロナウイルスや景気関連の動向が今後悪化する場合には共和党候補にとって逆風か

来年 1 月の決選投票までには 2 ヶ月弱あるため、その間に候補者の支持率がどう推移するか予断を持たずにみていく必要があるだろう。決選投票に向けた両党の動き以外で支持率に影響し得る今後の注目点としては、①「足元で感染が再拡大している新型コロナウイルスの動向」、②「新型コロナウイルスワクチンの開発動向」、③「景気・雇用の回復度合い」、④「追加経済対策に向けた議会の動き」等が挙げられよう。共和党は 2 つの決選投票に臨む候補が基本的に「現職」であることを踏まえると、ジョージア州が向き合う新型コロナウイルスや景気関連の動向が今後悪化する場合には共和党（候補）にとって逆風となる可能性が高いように感じられる。

上記①の新型コロナウイルスについて、米国内で感染拡大が現在特に目立つ地域はどちらかと言えば北に位置し気温の低い州だが、ジョージア州でも増加しつつあり今後の推移が注目される（次頁第 1 図）<sup>（注5）</sup>。参考までに、新型コロナウイルスに関連して人々の移動・活動状況をダラス連銀が発表している「移動・活動範囲指数」をみると、ジョージア州は全米よりも幾分改善した状態が続いているようである（次頁第 2 図）。

（注5）後掲参考図は、ジョージア州の新型コロナウイルス感染者数を郡別にみたものである（累計感染者数の多い上位 10 郡）。なお、ジョージア州には 159 の郡がありテキサス州に次いで郡の数が多い。

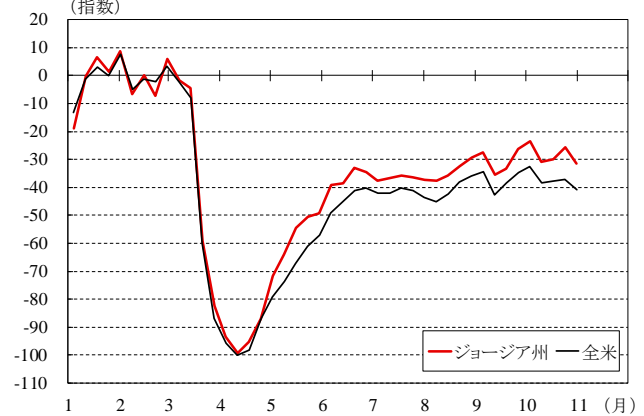


第1図: 新型コロナウイルス新規感染者数の推移



(注)7日間移動平均。  
(資料)米国疾病対策センター、USAFact統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

第2図: 移動・活動範囲指数の推移



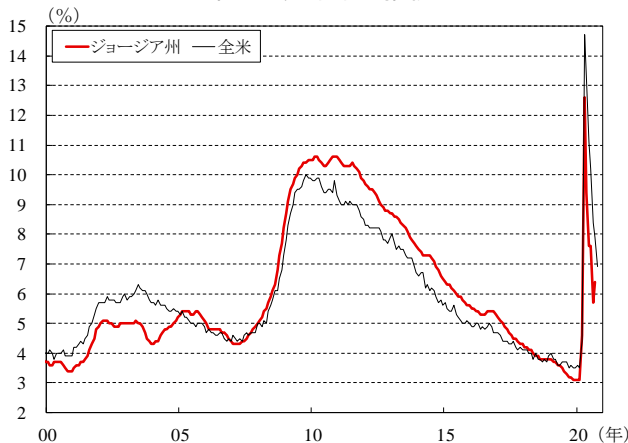
(注)指数は、全米の1月・2月の平均を0、4月中旬の最低水準を-100として作成。  
(資料)ダラス連邦準備銀行統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## コロナ禍で景気・雇用の変動幅は非常に大きくなっており決選投票までの動向が注目される

上記③の雇用情勢を確認しておく、ジョージア州の失業率は金融危機以降長らく米国全体を上回って推移してきたが、2018年頃に米国全体と同程度まで低下し、2019年には米国全体を下回って推移した(第3図)。昨年末のジョージア州の失業率は3.1%であった(米国全体は3.5%)。今年になると、失業率はコロナ・ショックを受けて4月に12.6%まで上昇した後、8月に5.7%まで低下している(直近9月は6.4%へ上昇)。コロナ・ショックによる失業率の悪化は、米国全体に比べれば抑制されていると言える。

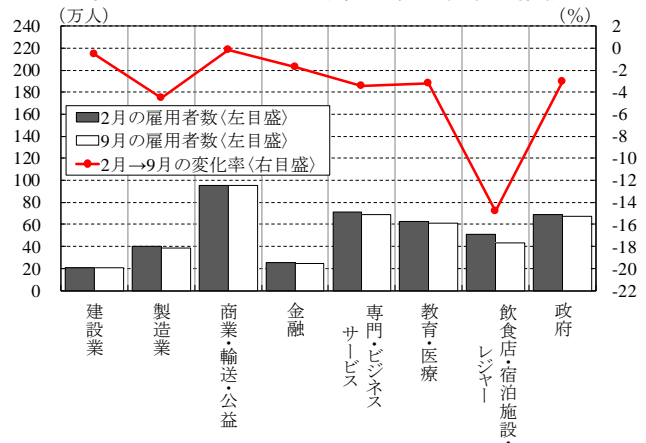
雇用者数をみると、直近9月は446.1万人とコロナ・ショック前の2月に比べて▲4.1%減少した状態にある。減少率の大きい業種は「飲食店・宿泊施設・レジャー」(▲14.8%)、「製造業」(▲4.5%)等である(第4図)。コロナ禍で景気・雇用の変動幅は非常に大きくなっており、引き続き決選投票までの動向が注目される。

第3図: 失業率の推移



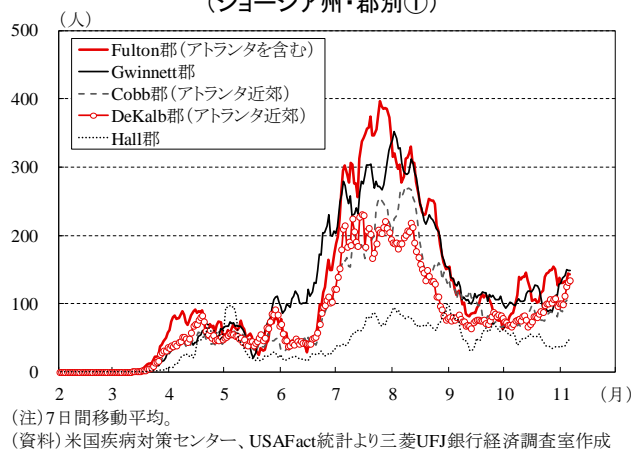
(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

第4図: ジョージア州の業種別雇用者数の推移

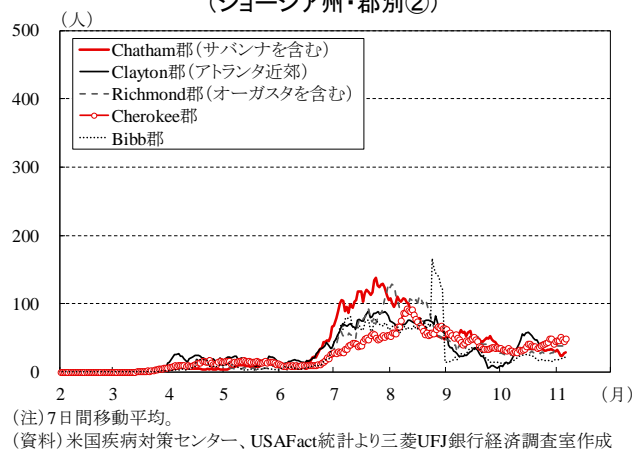


(資料)米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

参考図1: 新型コロナウイルス新規感染者数の推移  
(ジョージア州・郡別①)



参考図2: 新型コロナウイルス新規感染者数の推移  
(ジョージア州・郡別②)



(2020年11月10日 栗原 浩史 hikurihara@us.mufg.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊社ホームページでもご覧いただけます。

The information herein is provided for information purposes only, and is not to be used or considered as an offer or the solicitation of an offer to sell or to buy or subscribe for securities or other financial instruments. Neither this nor any other communication prepared by MUFG Bank, Ltd. (collectively with its various offices and affiliates, "MUFG Bank") is or should be construed as investment advice, a recommendation to enter into a particular transaction or pursue a particular strategy, or any statement as to the likelihood that a particular transaction or strategy will be effective in light of your business objectives or operations. Before entering into any particular transaction, you are advised to obtain such independent financial, legal, accounting and other advice as may be appropriate under the circumstances. In any event, any decision to enter into a transaction will be yours alone, not based on information prepared or provided by MUFG Bank. MUFG Bank hereby disclaims any responsibility to you concerning the characterization or identification of terms, conditions, and legal or accounting or other issues or risks that may arise in connection with any particular transaction or business strategy. While MUFG Bank believes that any relevant factual statements herein and any assumptions on which information herein are based, are in each case accurate, MUFG Bank makes no representation or warranty regarding such accuracy and shall not be responsible for any inaccuracy in such statements or assumptions. Note that MUFG Bank may have issued, and may in the future issue, other reports that are inconsistent with or that reach conclusions different from the information set forth herein. Such other reports, if any, reflect the different assumptions, views and/or analytical methods of the analysts who prepared them, and MUFG Bank is under no obligation to ensure that such other reports are brought to your attention.